



No.220

令和7年12月1日発行

滑川市議会

☎ (076) 475-2120

E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校3年生 丸野敬斗さんの作品)



8月20日、滑川市議会・魚津市議会・黒部市議会・上市町議会合同による 「富山地方鉄道の鉄道事業の状況」に関する勉強会を開催しました (詳細は5ページをご覧ください)

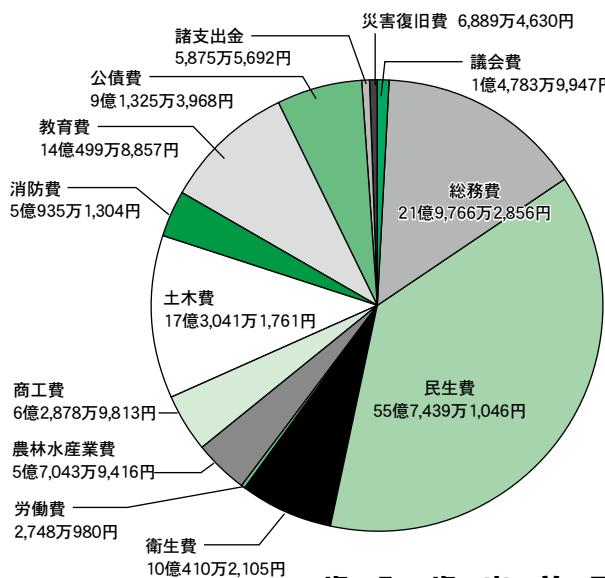
令和7年9月定例会一覧

*****										*****									
○議案の審議結果										○委員会									
人	そ	そ	条	予	16	議	運	營	委	閉	9	開	9	月	1	日	会	期	25
合	の	の	他	算	・	会	運	營	員	会	9	会	9	月	25	日	（	25	日間）
計	そ	そ	原	（原	17	11	10	25	員	中	日	日	日	日	日	）	）	）	）
合	事	他	案	案	・	・	・	・	員	の	8	代	9	日	8	日	（	1	）
計	事	（原	（原	可	18	産	業	厚	總	中	日	質	9	日	9	日	）	日	）
17	件	2	件	件	・	業	文	生	務	の	8	質	9	日	8	日	（	1	）
件	件	3	件	件	・	教	教	建	消	中	9	問	9	日	9	日	）	日	）
件	件	7	件	件	・	防	防	設	防	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	3	件	件	・	委	委	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	）	日	）
件	件	2	件	件	・	員	員	員	員	の	9	・	9	日	9	日	（	1	）
件	件	2	件	件	・	員													

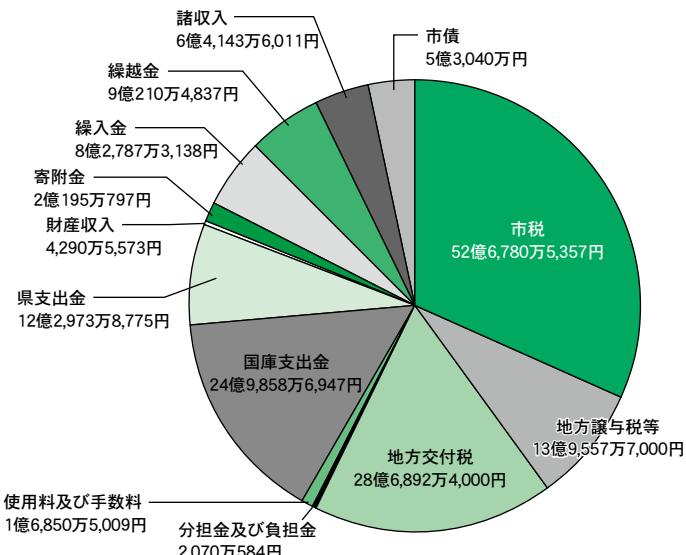
令和6年度の滑川市のお金の使われ方は? ～市の決算について審査を行いました～

一般会計

歳出総額 148億3,637万2千円



歳入総額 165億9,650万8千円



歳入歳出差引額 17億6,013万6千円
翌年度へ繰り越すべき財源 2億2,255万2千円
実質収支額 15億3,758万4千円

企業会計

水道事業	収入済額	支出済額
収益的収支	4億6,582万円	3億6,815万円
資本的収支	7,892万円	3億5,736万円
下水道事業	収入済額	支出済額
収益的収支	14億4,699万円	12億4,909万円
資本的収支	8億3,472万円	15億7,679万円

特別会計

会計名	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	25億3,412万円	25億2,826万円
後期高齢者医療事業	9億8,376万円	9億7,966万円
介護保険事業 保険事業	31億3,096万円	30億9,677万円
サービス事業	1,293万円	1,293万円
工業団地造成事業	103万円	0円

令和6年度の滑川市の予算の使われ方、実施した事業の成果等について、特に、予算額に対し決算額が低いもの（不用額が多いもの）や、新規事業、前年度に比べて増減の大きいものを中心に、必要な場合は資料の提出も求めながら審査を行いました。その結果、各会計決算については、議決予算に基づいて適正に執行され、計画された事業は概ね所期の成

◎決算特別委員会委員	
委員長	大浦豊貴
副委員長	安達真隆
委員	高川正樹
委員	谷崎潤一
委員	原 明
委員	古沢利之

令和7年9月定例会において、決算特別委員会が設置され、令和6年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査が行われました。決算特別委員会の委員は次のとおりです。

■決算特別委員会

果を挙げているとともに、行政効果も達成されたものと認め、決算特別委員会に付託された9議案については、賛成全員により認定または可決すべきものと決しました。

また、審査終了後、今後改善を求める事項として、次のとおり3項目を市に提出しました。

- 1 新たなものも含めて自主財源の一層の確保や歳出削減などにより、徹底した行政改革を行うとともに、限られた財源を有効活用するため、コスト意識を高め、事業評価と検証を行って、公平公正で最大の効果を伴うよう努められたい。さらに、行政事務については業務の効率化のため、民間委託も検討されたい。
- 2 時代の変化とそれに伴う様々な住民ニーズに対応するため、全国一律・画一的な旧来型の取り扱いや規制等の中で、本市の経営に支障をきたすものや地域の実情にそぐわないものなどについては、既存の制度にとらわれず、新たに必要となる制度等について常に精査し、住民サービスの質を下げることのないよう、制度提案や政策

下記のQRコードから
YouTube 滑川市議会チャンネルに
アクセスできます！



提案を含めて国・県に対して要望に努められたい。住民ニーズの高い事業については予算の確保に努め、翌年度にまわすことのないよう努められたい。

3 長期間固定・画一的になつている事業を始め、直近における新規事業等については、速やかに周知や効果を把握し、事業目的に対する達成度を確認するとともに、事業実績のみにとらわれず、適切な改善に努められたい。また、施設整備や補助金等への予算執行についても市民への長期的な福祉の向上につながるよう各種計画の推進に努められたい。

9月定例会

◆令和7年9月定例会

●令和7年度一般会計補正予算（第2号）（2億6,779万6千円）

を含む市長提出議案8議案を可決または同意

●令和6年度一般会計、特別会計及び企業会計決算など9議案を認定または可決

本会議

◇9月1日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長提出議案15件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を開き、全体委員会を開いて担当課長などから議案の補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行いました。

◇8日、9日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問並びに提出諸案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の25日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び決算特別委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、総務文教消防委員会の報告による議案第41号の修正案が分離採決され、修正案は賛成少数で否決されました。このため、議案第41号は原案について採決され、賛成多数で

原案のとおり可決されました。

続いて、その他の14議案が一括して採決され、1名が欠席したため、賛成多数で可決または認定されました。

続いて、市長から人事案件として、滑川市教育委員会の委員に山口一太郎さん（中野島）の任命、滑川市監査委員に佐藤孝男さん（宮窪新）の選任が追加提案され、いずれも同意としました。

最後に閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会しました。

■総務文教消防委員会

「議案第41号 令和7年度滑川市一般会計補正予算（第2号）」については、青山委員より修正案が提出されました。修正案は、歳出第3款民生費 第2項児童福祉費のうち、1目児童福祉総務費の病児保育施設等整備補助5千7百38万5千円と、それに対応する歳入5千7百38万5千円を削減するものです。

提案の理由として、既存の病児病後児保育施設の利用が低調であり、市民の病児保育の利用ニーズとは乖離があるにもかかわらず、新たな施設を整備することの妥当性に疑問が

残り、まずは既存施設への支援や利用促進策を講じることが市民サービスの向上と財政の健全化において賢明な判断ではないか。また、滑川市の将来的な子育て環境を考慮した上で立地を検討するべきではないか。

本修正案は、市民の真のニーズと既存施設の活用状況を再検証し、どの

立地により効率的で効果的な子育て支援策を講じるべきか再考を求めるものであるとのことでありました。

その後、委員間協議の中で、修正案について、「実際に市民から、なぜ山側に施設を新設するのかという声があった。」「これから施設を新設し、少ないニーズに投資しても、5年後、10年後には少子化が進み利用需要も減少すると考えられる中で、持続的投資にはならないのではないか。」という賛成意見や、「設置場所が山側であるが、コンパクトな滑川市であれば車で15分程度であることから、そこまで遠いとは感じられない。」「現在実施している施設で、年間数回ではあるが定員がいっぱいになることもあります、需要はあり得る。」という反対の意見がありました。

議案第41号の修正案については、採決の結果、可否同数となり、委員長裁決により可決すべきものと決定

しました。また、議案第41号の修正議決した部分を除く部分、議案第43号から議案第45号まで及び議案第55号については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

付託された2議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

■産業厚生建設委員会

付託された2議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

★議案第41号 令和7年度滑川市一般会計補正予算（第2号）

問農業の担い手に対する農業機械導入補助ということで畠畔等の管理の効率化に係る機械等の費用を補助されるとのことだが、農業の担い手不足が騒がれるなか、市の単独の補助なども入れて、購入しやすい価格となるよう補助事業を新規で考えてはどうか。

答前向きに考えたい。

問非常用自家発電設備整備のための補助をグループホーム1事業所に行われるとのことだが、いざという時には非常に大切な設備なので、宿泊等を伴う施設へ積極的に呼びかけることはで

きないか。

答必要性等については各施設とも入居者の生命・安全を守るために必要だと承知しておられると考えているが、連絡会等の機会を捉えて周知していきたい。

7年8月 日誌

19 25 日	1 ～ 25 日	9月 定例会	2日 豊頃町少年親善使節団歓迎式
25 日	20 日	姉妹都市親善交流（豊頃町）	4日 富山県東部消防組合議会
			7日 富山県市議会議長会
			5日 神奈川県大和市より行政視察
			8日 臨時総会、県知事との懇談会
			7日 議会運営委員会協議会
			8日 定例議員協議会
			18日 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟総会・講演会
			25日 三市議会議員研修交流会（富山市）
			27日 広報広聴委員会
			定例議員協議会

10月
8日

富山県市議会議長会

正副議長研修会(高岡市)
議会運営委員会協議会
総務文教消防委員会協議会定例議員協議会
議会報編集委員会16日
高知県四万十市より行政視察
議会報編集委員会21日
埼玉県飯能市より行政視察
富山地区広域圏事務組合議
会議員協議会・10月定例会
(立山町)22日
東京都東大和市より行政視察
事務組合議会10月定例会30日
滑川中新川地区広域情報
事務組合議会10月定例会

各議会議員による勉強会を開催しました。

はじめに、竹原正人滑川市議会議長が挨拶し、富山地方鉄道株式会社からは長瀬賢一企画部長が挨拶されました。

勉強会では鉄道線の概要からはじまり、日本の地方民鉄を取り巻く状況や、富山地方鉄道と行政とのこれまでの経過などの説明を受けました。説明のあと、質疑応答が行われ、各市町の議員から質問や提案があり、富山地方鉄道からは丁寧な回答がありました。

三市一町議会議員による 勉強会を開催しました



一代 般表 質 問

9月定例会では13名の議員が質問を行い、52項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。)

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



4321

改正鳥獣保護管理法について
公共交通について
HPVワクチン接種について
少子化問題について

(会派＝志眞会) 吉森真人議員



A 長崎産業民生部長 **Q** 改正鳥獣保護管理法が令和7年9月1日に施行されたが、これまでとの違いを問う。

体として捉えていただきたいという思いは持っている。

A 長崎産業民生部長 これまでには、市街地で銃を使用する熊の捕獲は原則禁止されており、立ち会う警察官の指示を受けるなどの必要があつた。9月からは熊やイノシシなどが人の生活圏に出没したときに、危険を防止するため4つの条件、場所、緊急性、方法、安全性の確保を満たせば、市町村の判断で発砲できるようになった。

A 石川健康福祉部長 **Q** 本年度から予算化された男性のHPVワクチン任意予防接種費用の助成で、接種を申し込まれた方、実際に接種された方の人数を問う。

A 石川健康福祉部長 9月4日現在、16件の申請者全員に助成券を発行した。7月までで、3名が延べ4回の接種を行っている。

A 水野市長 **Q** ここ数年の富山地方鉄道株式会社単独及び連結の経常利益及び当期純利益を問う。

A 高倉教育委員会事務局長 **Q** 児童・生徒数の減少により滑川市小中学校PTA連合会の運営費も圧迫している。他市町村は、自治体からの補助があるが滑川市はない。補助の検討はできないか。

A 水野市長 令和6年度単独の経常損失は4億288万円、当期純利益は、1億5千724万5千円。令和6年度連結の経常損失は、1千753万円。当期純利益は、12億2千660万8千円であり、どちらもここ3年間、経常利益は損失、赤字となつているが当期純利益は3年連続黒字となつてている。

A 上田教育長 **Q** 小中学校の再編について、どう考へておられるのか。

A 水野市長 不採算部門である鉄道事業はもちろん分かるが会社全

治体では、少子化等の影響により統廃合が進められているが、本市においては、統廃合に向けた協議は行っていない。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



54321

水野市長再選
富山地方鉄道再構築問題について
東滑川駅整備について
学校教育について

(会派＝会派自民) 岩城晶巳 議員



第220号 なめりかわ 市議会だより 令和7年12月1日 (6)

Q 滑川市長選挙は、2月8日が投票開票と発表された。水野市長は、先日出馬の意向を固めたと報道があった。次の4年、また期待する声が多く届いている。今の滑川市にとって水野市長がリーダーシップを取ることがベストと考える。決意を聞きたい。

A 水野市長 就任時には「強く優しく輝く滑川」をマニフェストに30の政策、102の施策に取り組んで、現在、その100%全ての項目に着手している。対話によるまちづくりが私自身の政治スタイルであり市政運営を担ってきた。この大好きな滑川を未来の世代へ引き継いでいくことが、私の使命であると考えており、次期市長選への出馬の意向を固めた。

Q 滑川市は、地鉄が廃線となればどのような影響があると考えられるか。

A 水野市長 富山地方鉄道が提示している廃線案では、滑川駅から新魚津駅間が対象で、この区間が廃線となつた場合、浜加積地区、早月加積地区などの市民の方の市内外への通勤通学等に影響がある。

Q 去年の9月議会で災害物資備

蓄倉庫が市の西部に偏りすぎていると質問したが、東部への設置の考えはどうか。

A 石川総務部長 ご指摘を踏まえ、市内の東部での設置を検討している。市内主要幹線に程近い農村環境改善センター周辺で想定している。

Q 東滑川駅前広場は市の所有地であり市が責任を持って除雪すべきではないのか。

A 長崎産業民生部長 今年2月の大雪の際は市が直接除雪した。利害関係の方にはご不便をおかけしたが、今後は、付近の市道を除雪する業者に依頼をする。

Q この春に中学3年生、小学6年生を対象に全国学力テストが実施されたが、滑川市の児童・生徒の状況はどうだったのか。

A 上田教育長

は、小学校、中学校とも全ての教科において、全国の平均正答率と同程度か上回る結果であった。

Q 県内においてはどういう状況なのか。

A 上田教育長

県と比較すると、やや下回っている状況である。

一般質問



1 安全・安心な学校づくりの推進と取組について

市内小中学校における熱中症対策について

(会派＝会派自民) 谷崎潤一 議員



Q 全教員を対象とした学校安全または安全管理セミナーを開催しているのか問う。

A 高倉教育委員会事務局長 本市においては、学校安全に関するセミナーは行われていないが、県教育委員会が防犯教育指導者講習、防災教育指導者講習を開催しており、全ての小中学校の安全教育指導者が4年に一度研修を受けることになつてている。

Q 滑川市内教員で普通救命講習を修了した人数を問う。

A 高倉教育委員会事務局長 市内小中学校88名の教員が普通救命講習を受講しており、ほかに消防署や富山赤十字の職員を講師とした、救命講習やAED講習を実施している。

Q 滑川市でセーフティプロモーションスクールに基づいた学校安全の取組を実施できないか問う。

A 高倉教育委員会事務局長 本市各学校の安全指導計画とセーフティプロモーションスクール認証校の活動計画を比較したところ、大差のない内容となつていた。しかし、セーフティプロモーションスクールに見られる特徴として、子ども

の安全に関わる地域の機関や人々が、組織的かつ継続可能な学校安全の取組に共同して参加するものがあり、この地域との連携事例は、本市が今年度スタートしたコミュニティスクールの参考になり、各学校の安全指導計画の見直しの際は考慮していきたい。

Q ゾーン30に対する協議の進捗状況を問う。

A 長崎産業民生部長 現在のところゾーン30の設置要望についてはない状況で、個別協議は行つていない。なお、令和8年9月に施行される道路交通法の改正で、ゼンターラインや中央分離帯がなく、道幅5・5メートル未満の生活道路における法定速度が、現在の60キロから30キロに引き下げられる。このような内容の周知を図つていただきたい。

Q 登下校時の荷物の軽減は実施されているのか問う。

A 高倉教育委員会事務局長 自宅に持ち帰る必要のない教科書や荷物は学校に置いていくことを市内小中学校で実践し、登下校時の荷物の軽減に取り組んでいる。

一般質問



2 1

観光振興について
消防力向上について

安達真隆議員



一般質問



3 2 1

農業の振興について
なめりかわランタンまつりwith
ベトナム航空2025について
ベトナム、ホイアン訪問について

原 明議員



Q 観光遊覧船キラリンのエンジンの不具合で運航が取りやめになつていて。現在どのような状況か、いつ直るのか問う。

A 長崎産業民生部長 観光遊覧船キラリンについては、8月1日の運航中にエンジンがオーバーヒートしたため、急遽帰港し、修理を行つた。その後、エンジンの症状は収まつたが、冷却水の漏れが確認されたため、改めて修理が必要になつた。現在は運休している。再開時期は、修理に要する費用が現在判明しておらず、現時点では見通しを立てられない状況である。

Q 富山湾岸クルージングや来春のほたるいか海上観光に影響はないのか問う。

A 水野市長 唯一無二のほたるいか海上観光を来春行わない選択肢はない。本市の観光の目玉であるほたるいか海上観光は来年もぜひ実施したいと考えており、富山湾岸クルージングについても今後統一と考へたいと考へている。こうした考えの下、修理が困難な場合は代替船の確保も含めて検討していく。ないと考へており、来年の海上観光には影響のないよう進めていく。

Q 滑川市消防団は、火災、災害時に必要だと思われるが、改めて市の見解を問う。

A 石川総務部長 消防団は、火災や大規模な自然災害時に常備消防、これは消防署であるが、消防署だけでは対応しきれない活動を補い、住民の避難誘導や初期消火、救助などの活動を行う地域防災を担う活動を行う地域コミュニティの活性化にも貢献しており、消防団は地域に必要不可欠な存在である。

Q 機能別消防団員の確保に努めるとあるが、どのような役割を果たすのか。

A 石川総務部長 機能別消防団員制度については、消防団員減少における新たな人材確保に向け、国が導入を推奨する制度である。従来の消防団員が消防団活動全般を担うのに対し、機能別消防団員は特定の任務に限定し、活動や役割付面積を令和10年度までに160ヘクタールに拡大することを目標としている。

Q 滑川市は、富富富の作付面積をどのように拡大していくのか問う。

A 長崎産業民生部長 富富富の作付面積を令和10年度までに160ヘクタールに拡大することを目標としている。

Q なめりかわランタンまつりは、滑川の夏祭りのイベントとして定着しており、今後も続けていくことが必要である。今年の反省と来年開催への見解を問う。

A 柿沢副市長 8月9日、10日に旧宮崎酒造及び瀬羽町周辺、中滑川複合施設メリカ、高木久雄商店を中心に開催され、約1万2千人

の来場者で賑わつた。全体としては、関係の皆さんの尽力により、これまでの伝統を引き継いだすばらしいイベントになつたと考えている。ランタンまつりは、富山県ベトナム人協会から多くのベトナム人の参加があり、国際交流の観点からも大切なイベントである。市としても引き続き実行委員会に参加し、持続可能なイベントとなるよう努力したいと考えている。

Q 7月上旬にホイアン市を訪ね、意見交換する予定だったが、まだ実施されていない。今後の取組について見解を問う。

A 柿沢副市長 ベトナムの行政区画再編が国全体で本年7月に実施、施行されたことから、ホイアン市も影響を受ける情報が入り、7月の訪問を延期したところである。行政区画再編により旧ホイアン市が国の直轄市であるダナン市に吸収され、ダナン市ホイアン坊となつたことから、現地のコーディネーターと相談し、まずは市長の書簡文を送りたいと考えており、友好交流の締結に向け積極的に取り組んで行きたいと考えている。

一般質問



3 2 1

市道の安全対策について
ほたるいか海上観光につ

一般質問



2 1

生活保護減額を違法最高裁判決に関連して

A 北島建設部長 通学路対策として、田中新町地内の市道菰原辰野線など市内4路線において、国の交付金を活用した歩道整備や、市単独事業では、吉浦地内の市道吉浦三ヶ線など市内6路線において、路肩拡幅などの整備を進めている。昨年度は、坪川地内の第一坪川踏切を含めた市道中野島坪川線、延長400メートルの歩道が完成した。**Q 市道北野高塚線において、大型 トラックの運送会社や足場工事会社があり、トラックとすれ違うのが大変である。住民の安全対策も考えて道路を拡幅できないか。**

A 水野市長 今言われた状況を部長も確認しているので、試算もしながら、どういった優先順位をつけるか総合的に検証しながら、他の優先順位も含め考える。

Q 富山湾岸クルージングにおいて、毎年5千人以上の方が乗船されている。この機会に観光客の安心と安全、より一層感動していただくために、キラリン号の更新は考えていないのか。

A 水野市長 滑川市の観光の目玉ほたるいか海上観光や富山湾岸クルージング、これらを安心・安全にお楽しみいただくなためには、整備の行き届いた観光船が必要不可欠だと考えている。

Q 災害が発生した場合、各地区の避難所の確保と、備品等の準備はできているのか。

A 石川総務部長 市では、公共施設36か所、民間施設8か所を含む計44か所を指定避難所として指定している。災害用の備品については、メリカ、田中小学校、消防署の市内3か所にある備蓄倉庫に食料、飲料水等を備蓄しており、賞味期限に合わせて計画的に入替えを行っている。各小中学校体育館等には、段ボールベッド等避難所開設・運営に必要な資機材などを整備している。今年度は、トイレルームとして活用可能な多目的車両の購入や自動ラップ式トイレ、発電機、組み立て式給水タンク等を整備し、避難所の生活環境の改善に努める。

その他の質問

・ オンデマンドバスについて

・ 定住促進住宅について

Q 平成25（2013）年から27年にかけて、生活保護基準の大幅な引下げが行われた。6月に最高裁判所は、この引下げは違法だつたとの判決を出した。本市でこの引下げの影響を受けた生活保護利用者はどれくらいいるか。

A 石川健康福祉部長 この改定は2013年の8月支給分からだつたが、その時点での被保護世帯は75世帯、88人だつた。

Q 直接の影響額はどれくらいだったと見ていくか。

A 石川健康福祉部長 国の対応方針が定まっていないため、影響額を見込むことができない。

Q 国は違法判決の後も是正措置を取っていない。国に対応を取るよう求めるべきではないか。

A 石川健康福祉部長 今回の最高裁判決は市としても重要と認識している。市の今後の動向を注視していく。

Q 報道によれば、地鉄は滑川・新魚津間の廃止準備を表明した。6月までに行政からの支援を要請していたが、示されなかつたためとしている。そのような認識はあつたのか。

A 水野市長 地鉄の担当者が決算報告を兼ねて来られたのが6月13日。副市長からは令和8年度分は支援の方向で発言している。地鉄担当者は、であれば廃線の届けの準備はしなくてよい旨の発言があつたと報告を受けている。廃線届けを出すということは直接聞いていない。

Q 「分科会」の中間報告はいつをめどにしているか。

A 水野市長 中間報告は、11月の頭ぐらいにと期待している。

Q 地鉄側は12月末までに自治体からの支援の意思表示がなければ廃止の届けを出すと報道されている。その趣旨の発言はあつたか。

A 水野市長 そういう発言は聞いていない。

Q 正式の場で意思表明がないのに、報道で明らかになるのは遺憾な話ではないか。

A 水野市長 おっしゃるとおりだと思っている。

Q 住民との意見交換はどう考えているか。

A 水野市長 11月初旬が希望だが、その辺で意見交換会を設けたい。

一般質問



3 2 1

歳出の縮減に向けた行政評価について
子育て・教育について
防災について

水橋真治議員



一般質問



4 3 2 1

人生会議について
防災について
出場激励金について
熱中症対策について

尾崎照雄議員



Q 年度当初に予定したものが年度末において、その事業が無駄だと思うときに、思い切って実施しない方向に行くのか、それとも去年も一昨年も行っているからこのままいくのか。

A 柿沢副市長 予算は限られているので、スクラップ・アンド・ビルド、市民のためになつていよい事業は廃止、縮小という方向であるからこそ、市民のためになる事業を新しくつくることができる。

そういう方針で取り組んでいきたいと思っている。また、スクラップすべきものはしつかりスクラップしていく考え方の下に、今年度特に強化して取り組みたいと思っている。その中に新たに生まれた財源を基に、効果的な事業に取り組んでいきたいと思っている。

Q いじめ防止基本方針に基づいて、いじめ防止条例を制定してはいかがか。

A 高倉教育委員会事務局長 本市では、滑川市いじめ防止基本方針を策定し、いじめの未然防止、早期発見・対処、地域や家庭との連携、関係機関との連携、重大事態への対処等を明記している。この基本方針に基づいて、各学校において

その他の質問
・福祉について

の増設・改修については、大規模な改修等を伴い多額の費用もかかるところから当面、簡易トイレ等を含め必要数量の計画的な整備に努めることとしている。被災用改修、被災用テントを購入してはいかがか。

A 石川総務部長 避難所のトイレの建設・改修については、大規模な改修等を伴い多額の費用もかかるところから当面、簡易トイレ等を含め必要数量の計画的な整備に努めることとしている。被災用改修、被災用テントを購入してはいかがか。

も学校いじめ防止基本方針を策定し、いじめの対応に当たっている。まずは条例を制定するよりも現行の基本方針を適正に運用するよう努め、子どもたちが安心して学校生活を送り、成長できるよう市内小中学校や地域、関係機関と連携協力し、いじめ防止に取り組んでいきたいと考えている。

A 高倉教育委員会事務局長 本市では、滑川市いじめ防止基本方針を策定し、いじめの未然防止、早期発見・対処、地域や家庭との連携、関係機関との連携、重大事態への対処等を明記している。この基本方針に基づいて、各学校において

トイレを避難者入等の検討を進めていきたいと考

Q 市民に人生会議の大切さを伝えるためにどのような広報や啓発活動を行っているのか。

A 石川健康福祉部長 令和4年度に市民向けの講演会を実施し、その後は介護予防事業において、工芸デイングノートや成年後見の周知を行っている。

Q 人生会議を広めていくことで、市民やその家族、そして地域全体にどのような効果が期待されるのか、また、今後の展望について問う。

A 石川健康福祉部長 関わる家族や医療・介護従事者が、何度も繰り返し人生会議を重ねることで、人生の最終段階において、万が一の状況であつたとしても本人の声を伝えることができ、関わる方が同じ方向性で、本人の望む最期を迎えることがで、意思を伝えられない状況であつたとしても、そのための要件を速やかに定める。

現在も計画的に整備を進めている。トイレを避難者20人に1基確保する中長期段階の取組については、令和12年度までに整備を進めてまいりたい。

Q 芸術・文化・学術等に関する大会等への出場激励金に関する内規を、スポーツ全国大会等の出場に伴う激励費についての交付要件の内容と同様に充実させるべきではないか。

A 高倉教育委員会事務局長 文化・学術等に関する大会等への出場激励金に関して、スポーツの激励費では定めていない樂器運搬費用などの取扱いを含め、スポーツと同様に分かりやすく周知するための要件を速やかに定める。

Q 小学生の熱中症対策として、首元を冷やすネットクーラーなど冷却グッズを下校時にも使えるよう、冷凍庫を配備してはどうか。

Q 避難所に関する運営方針のスフィア基準に基づく、トイレ20人以上1基とする基準に対してもどうう取組をするのか。

A 高倉教育委員会事務局長 今後、猛暑が続くことも想定されるため、児童・生徒が安全に下校できるよう、冷凍庫の配備等を含め他市町村の取組も注視しながら検討してまいりたい。

一般質問



2 1

医療環境について
子育て短期支援事業について

大浦 豊貴 議員

Q 医療機関の倒産や休廃業の件数は増加傾向であり、患者数の減少、医師の高齢化や後継者不足、物価や人件費の上昇に対する診療報酬の対応不足等が挙げられています。厚生連滑川病院は、市内唯一の公的医療機関として地域医療の中核を担っている。しかし様々な要因により経営は難しい状況にあります。現在、運営補助事業や医療機器設置助成による6千万円の補助を行っているが、事業評価を問う。

A 石川健康福祉部長 小児科外来診療に対する補助や夜間救急外来の実施、新たな医療機器の設置により、市民が安心して医療を受けることができる体制の維持につながっていると評価している。運営の維持、医師の確保の厳しさは認識しているところであり、引き続き厚生連滑川病院に地域医療の中核を担つていただくために、必要な支援について協議する。

Q 行政側が行つてほしい診療に対して支援しているものであり、決して赤字補填ではないのかを問う。

A 石川健康福祉部長 現在の救急医療4千万円、小児科については、市からの要

Q 厳しい医療機関に対して、行政側が補填する考え方について問う。

A 石川健康福祉部長 補助を出している状態であっても、厚生連とすれば、他の病院と同じくかなりの赤字状況である。毎年赤字の状況で、これまで内部留保なりで補填してきたが、病院は全体的にコロナ以降、経営が厳しくなっているところで、このまでは維持していくことが難しいと要請が来ているところである。このため、今後は赤字の補填についても、少し検討していくかなければならない段階にきているのかなと考へている。

Q 保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となつた場合

A 北島建設部長 寄附された樹木がたくさんあるが、しっかりと管理しなければならないのではないか。

Q スポーツ・健康の森公園には、寄附された樹木がたくさんあるが、

A 北島建設部長 スポーツ・健康の森公園の基本理念であるみんなで手作り、健康と体力をはぐくむ公園の実現に向け、寄附を募り、滑川市樹木の里親プロジェクトとして運用してきた。寄附をいただいた樹木が多く植えられ、園内で成長する姿を来園の方々に愛でていただくことも、この基本理念に合致していると考えており、寄附いただいた方々への感謝の意を込

一般質問



4 3 2 1

職員の地域貢献活動について
樹木空き家対策について
コミュニティバスについて

高川 正樹 議員

Q 職員の地域貢献活動として、どれくらいの職員が、どのような活動をしているのか。

A 石川総務部長 職員がそれぞれの能力や特技を生かした活動に取り組めるよう、勤務時間外に報酬を得て地域貢献活動に従事する場合の許可基準を定め、明確化した。今年度は、滑川市地域クラブ活動指導者、派遣手話通訳者、地域活性化に関するアドバイザー、プロマーやダンス講師など、7名から申請を受けた。

Q 危険老朽空き家対策として、困っている町内会と連携しながら、新たなモデルとなる事業は考えられないか。

A 北島建設部長 全ての市民の皆様が安心して暮らせる環境を確保するため、全国の自治体の先進事例を参考に、空き家問題の解決に向けて町内会など地域の皆様と協力して取り組んでいきたい。

Q 地鉄バスの水橋東出町から滑川駅前間の廃止によって、滑川市に出来る影響は。

A 長崎産業民生部長 廃止となる地鉄バスの運行ルートの一部をコミュニティバスの運行ルートとすることから、これまで地鉄バスを利用されてきた方への影響はある程度補えると考えているが、地鉄バスが1日当たり10便程度の運行に対し、コミュニティバスが平日1日4便、休日3便である点、市街地循環ルートは往復ではなく循環することによる移動時の増加など、少なからず利便性の低減が発生すると考えている。

一般質問



2 1

持続可能な農業について 除雪に備えて

青山幸生議員



Q 豊かな農村づくり推進費の農業機械導入費520万円の予算がついている。具体的にどのような用途と目的で、何台購入するのか。

A 長崎産業民生部長 県補助事業を活用して市内2経営体に対して農業用機器の導入費の補助を予定している。一つ目は野町農事組合法人が導入予定としているスマート農機であるトラクター、V溝播種機、サイバー・ハロー（代かき機）の各1台ずつで、直幡栽培に取り組むことで、農繁期の分散を図ることを目的としている。二つ目は農事組合法人はやつきが導入する予定の草刈り機、ハンマーナイフモアが1台で、畦畔の草刈り作業を機械化することで、引受け農地の管理を省力化し、経営体の農地引受け力の向上を図ることを目的としている。

Q 全国的に降雨が少なく気温が高い状態が続いている。本市の7月8月の農業用水の状況はどうか。

A 長崎産業民生部長 6月下旬以降の気温が高く、降水量が極端に少ない状況が続き、8月初旬のまとまつた降雨まで、他市町村では農業用のため池が枯れる等の干害

A 北島建設部長 ミニホイールローダーを運転するための資格は大型特殊免許と車両系建設機械の二種類である。職員で免許取得者は何人か。

A 長崎産業民生部長 豊かな農村づくり推進費の農業機械導入費520万円の予算がついている。具体的にどのような用途と目的で、何台購入するのか。

を活用して市内2経営体に対して農業用機器の導入費の補助を予定している。一つ目は野町農事組合法人が導入予定としているスマート農機であるトラクター、V溝播種機、サイバーハロー（代かき機）の各1台ずつで、直幡栽培に取り組むことで、農繁期の分散を図ることを目的としている。二つ目は農事組合法人はやつきが導入する予定の草刈り機、ハンマーナイフモアが1台で、畦畔の草刈り作業を機械化することで、引受け農地の管理を省力化し、経営体の農地引受力の向上を図ることを目的としている。

B 北島建設部長 除雪対策事業費として7千200万円のモーターグレーダーとミニホールローダーが導入される。利用方法はどのように考えているか。

ダーダーは、現在、除雪委託業者に貸与している機械を更新するものである。この機械は幹線道路などの広い道路除雪に適しており、走行速度が速いため短時間で広範囲の除雪が可能である。一方、ミニホールローダーは新たに追加するものであり、小型で小回りが利き幅の狭い道路における除雪作業に適している。直営除雪の機動力を向上させるために、今回新たに購

A 高倉教育委員会事務局長 確認については小学校ではパソコンのデータと紙の台帳、中学校でいるか問う。

Q 現在、学校図書館の蔵書の確認や貸出し方法はどのようになつてあるか問う。

Q 国や県の要綱に合わせ、過剰な設備となつたり、金額が上がつたりすることはあつてはならない計画段階から経費節減、コストダウンを図る取組もこれから時代必要不可欠ではないか。補助金がもらえればよいとする時代は終つたと考えるが、いかがか。

Q 国や県の基準によらず補助しようとする場合、市が主体的に審査して補助金を支給できる範囲を拡大するためには何が必要か問う
A 石川総務部長 国や県の補助金制度を活用した場合と比べ、市や事業者の負担額の観点などの判断に加え、制度化する財源が確保できるかなども一つの判断材料にならぬ。

一般質問



3 2 1

補助金の見直しについて
(市単独補助金の新たな取組)
学校図書館の充実について
幼児教育研修について

開田晃江議員



A 高倉教育委員会事務局長 約1千200万円を見込んでいる。
Q 滑川じゅうの現場を預かる保育士、保育教諭の研修をしてもらいたいが、教育長の思いを伺う。
A 上田教育長 保育者の資質向上のため、研修は重要であると思う。保育者同士が学び合い、情報共有して、外部の専門家からの知識や啓発を受ける機会を提供できるようしつかり考えていくたいと思っている。

Q 各小学校図書室の環境整備をしてはいかがか。
A 高倉教育委員会事務局長 藏書システム が導入されていない市内の全小学校にシステムを導入することを優先的に進めたいと考えている。

要望書

件名及び提出者
要望書(2件)

処理結果

- 1 国に防衛力強化の一環として、食料安全保障を重要視することに関する陳情書
..... 全議員へ参考配付

- 社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラ会」 代表 加藤 克助
2 地域社会に貢献するシルバー人材センターの新たな決意と支援の要望
..... 全議員へ参考配付

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会令和7年度定時総会
公益社団法人滑川市シルバー人材センター

議案の審議結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第41号	令和7年度滑川市一般会計補正予算(第2号)	総産	原案可決
議案第42号	令和7年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第43号	滑川市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第44号	滑川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第45号	滑川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第46号	令和6年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第47号	令和6年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第48号	令和6年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第49号	令和6年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第50号	令和6年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第51号	令和6年度滑川市水道事業会計決算認定について	決特	原案認定
議案第52号	令和6年度滑川市下水道事業会計決算認定について	決特	原案認定
議案第53号	令和6年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決特	原案可決
議案第54号	令和6年度滑川市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決特	原案可決
議案第55号	滑川市総合計画後期基本計画の策定について	総	原案可決
議案第56号	滑川市教育委員会の委員の任命について	—	原案同意
議案第57号	滑川市監査委員の選任について	—	原案同意

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

*委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、決特：決算特別委員会

贊否一覽表

議案	会派 議員名	志 真 会					会 派 自 民			無 会 派			
		吉森 真人	安達 真隆	谷崎 潤一	青山 幸生	竹原 正人	高川 正樹	原 明	岩城 晶巳	中川 勲	水橋 真治	大浦 豊貴	尾崎 照雄
議案第41号 (委員会で可決された修正案)	○ ○ 欠 ○ / ● ● ● ○ ○ ● ● ○ ○ ○	● ● 欠 ● / ○ ○ ○ ○ ● ● ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 欠 ○ / ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○										

※賛成者は○、反対者は●、欠席者は欠としています。議長は採決に加わらないため「/」としています。

12月定例会が下記の予定で開催されます

日	時間	摘要
12月9日（火）	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
16日（火）	10時	代表、一般質問
17日（水）	10時	一般質問
18日（木）	10時	総務文教消防委員会
19日（金）	10時	産業厚生建設委員会
23日（火）	11時	委員長報告、質疑、討論、採決



この号がこのメンバーでの最後の議会
だよりとなります。2年間ありがとうございました。

議會報編集委員

電話 475-12120



議会の傍聴のルールが変わりました

滑川市議会の傍聴ルールについては滑川市議会傍聴規則に定めており、全国市議会議長会が定める標準市議会傍聴規則（標準規則）を参考としています。

この標準規則は昭和34年に制定され、平成3年に最終改正されて以降改正されておらず、最近では一般的に使われない語句や、制定・改正時の社会情勢を反映した規定が残っています。このため、多様な人材の市議会への参画を促す一助となるよう、また、傍聴環境を整備し開かれた議会とするため、全国市議会議長会において標準市議会傍聴規則の一部改正案がとりまとめられ、令和7年2月5日の理事会で了承されたことから、本市の傍聴規則についても同様に、必要な改正を行いました。

・主な改正内容

子育て世代が議会傍聴する上での障壁となるものや、主権者教育の推進など昨今の社会情勢を踏まえ、改正を行いました。

傍聴される方への注意事項 議場の中では以下のことはしないでください

				
銃器など危険な物を持ち込まない	携帯電話等の音が鳴る機器は、電源を切るなど、音が鳴らないようにする 通話は控える	写真・動画を撮影、録画・放送する 音声を録音する	飲食する たばこを吸う	拍手等により はつきりと可否を表明する
				※不明な点は職員におたずねください。また、職員の指示がある場合は、指示に従ってください。 ※注意事項に従わないときは、退場していただく場合があります。
大きな声で話をする	騒ぐ・席を離れる乱れた行為をする	たすき等を付ける	酒気を帯びていない お酒を飲まない	